

令和6年度第2回気象庁入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和7年2月19日(水)気象庁会議室	
委員	委員長 横山 幸太 (弁護士)	委員 遠藤 和義 (工学院大学教授)
	委員 安田 恵 (公認会計士)	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年9月30日	
契約の現状の説明等	入札・契約手続の運用状況等の報告	
総抽出案件	5件	〈備考〉
工 事	一般競争	3件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサル タント業務等	一般競争	0件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
物 品・ 役務等	一般競争	2件
	指名競争	0件
	随意契約	0件
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
1. 入札・契約手続の運用状況等の報告	
<p>指名停止等の運用状況一覧表を見たところ、四半期の気象庁内部の指名停止件数としてはかなり多いと感じるが、近年の傾向として増えているのか。</p>	<p>一覧表の指名停止件数は、四半期ではなく6年4月1日から9月30日までの半年間の件数であるが、昨年同時期より増えてはいるものの、年度によって増減がある。</p> <p>なお、国土交通省競争参加資格名簿に登録されている業者が法令違反を行った場合には、国土交通省全体として指名停止措置を行うことになるため、気象庁が発注した契約案件以外の指名停止も含まれている。</p>
2. 航空統合気象観測システムの製作及び取付調整（気象庁本庁） 【物品・役務等、一般競争入札】	
<p>従前に比べて値引き率が小さくなったということは物品の価格が上がっているということであるが、それにもかかわらず、予定価格が参考見積の約半分になっている原因は何か。</p> <p>費目によって契約金額内訳が予定価格内訳より大きかったり小さかったりするの合理的なものなのか。</p> <p>観測装置が設置されている空港と設置されていない空港の違いは何か。</p> <p>仕様書の要件を満たす機器は、落札業者しか製作できないものなのか。</p>	<p>査定工数が参考見積の工数の約3分の2であることや労務単価について参考見積と気象庁が定める価格に差があることによって、予定価格が参考見積の約半分となった。</p> <p>製作費については、過去実績の値引き率と比べて今回業者が出した値引き率が小さくなったことにより契約金額の方が大きくなり、取付調整費については、業者が多く値引きしたことにより契約金額の方が小さくなった。</p> <p>運航している航空機に対して航空局が情報等を提供する、航空保安業務を行っている空港において観測装置が設置されている。</p> <p>汎用の機器を使って加工・製作ができるため、落札業者に限らず、どの測器メーカーでも製作が可能である。</p>
3. 八丈島・三宅島航空気象観測所航空統合気象観測システム基礎等設置工事（東京管区气象台） 大阪・関西万博会場（夢洲）航空統合気象観測システム基礎等設置工事（気象庁本庁） 【工事、一般競争入札】	
<p>落札業者は、同種の工事を連続して落札している業者か。</p> <p>資料に仲裁合意書が添付されていたが、本工事において紛争が起きているのか。</p>	<p>連続ではないが、空港関係の工事によく落札している業者である。</p> <p>仲裁合意書は、紛争が起きた場合に建設工事紛争審査会の仲裁に付し、その仲裁判断に服することを予め発注者と受注者が合意したことを示す契約書の付属書類であり、紛</p>

<p>落札率の違いは、競争相手がいることが想定される場合には落札率が下がるが、離島等の条件によっては落札率が下がらないと説明し得ると考えられるのか。</p> <p>万博会場の設置期間は一時的とあるが、設置した観測装置は終了後どうするのか。</p> <p>万博会場では無人で運用するため二重化とあるが、その必要性は何か。</p> <p>開催期間中に人を配置する方が二重化するより安価になるのではないか。</p>	<p>争が起きているわけではなく、どの契約においても添付されている文書である。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>設置した観測装置は撤去し、予備品として管理し、観測装置に故障があった空港において有効活用する予定である。</p> <p>無人だと観測装置を保守する人間が現地にいないため、不具合等があった場合すぐにメンテナンスできず観測ができなくなることから、観測の継続を担保するために二重化する対策を講じている。</p> <p>日中ずっと張り付いて観測する必要があり、メンテナンスも含めて現地に対応するためには高い技術が必要となるので、その人件費の方が高額になる。</p>
--	--

4. 気象庁ホームページ等の構築及び保守並びに運用支援（気象庁本庁）

【物品・役務等、一般競争入札】

<p>各業者の総合評価得点は僅差であるが、最高得点業者の見積書を使って予定価格を作成するのは適切なのか、今後の対応を含めて見解を伺いたい。</p> <p>著しく低い金額で入札した業者と他の業者との差について、何がこれほど違うのか。</p> <p>著しく低い金額で契約したせいで事故が起きたとなれば問題になるが、仕様書で要求している作業は滞りなく実施されているか。</p>	<p>僅差であっても、現時点では最高得点業者の見積書を使って予定価格を作成しているが、今後については、見積金額に大きな差があった場合、内容を精査しながら、どの業者の見積書を使って積算するのが妥当なのか、検討を始めたところである。</p> <p>ITの人材やガバメントクラウドに精通した人材が不足して、人件費が高くなった社と、ガバメントクラウドで使うスキルを持った人材を抱えている社の人件費の差が出たと考えている。</p> <p>進捗状況を確認しているが、完成期限に向けて遅れやエラーもなく作業は実施されている。</p>
---	---

5. 沖縄気象台新庁舎電話交換機等設置工事（沖縄気象台）

【工事、一般競争入札】

<p>共通費について、予定価格と契約内訳金額に大きな乖離があるため、共通費が安価な理由として挙げられている点を</p>	<p>共通費については、公共工事積算基準に基づき、直接工事費と工期を設定して算定した結果である。</p>
---	--

<p>反映した積算方法もあるのではないかと思うが、積算基準を用いることはルール上やむを得ないのか。</p> <p>低入札価格調査で経営内容・経営状況の照会をしているが、土木業界で倒産が相次いでいる中、低入札にならない場合でも網羅的に調査する仕組みになっているのか。</p> <p>低入札価格調査を実施して契約を締結した中で、突然倒産した事例はないか。</p>	<p>低入札にならない場合には調査を行っていないが、3年ごとに行われる競争参加資格の更新の際に、経営状況の審査を受けている。これにより、競争参加資格の等級が付される。</p> <p>最近はないが、過去に1度だけ契約期間中に倒産して工事ができなくなった事例はある。</p>
---	---

6. 審議の結果

是正を求めるような事案はなかった。

指名停止等の運用状況一覧表については、気象庁の各部局と直接関係しているものが分かるように表を工夫し、今後実施される本委員会の審議の際には、適宜、指名停止の理由等を説明するようにはいただきたい。